

# 田原公民館報

令和元年  
9月号



法人 田原公民館  
発行 泉森 由貴  
〒1078-1 奈良市若荷町  
TEL/FAX 81-0888  
発行責任者 泉森 由貴

## 「心安く、寄り合って」

館長 泉森 由貴

暑い夏が終わろうとしています。今年の夏は激しい雨と雲一つ無い晴れをデジタ的に繰り返す日々でした。自治連合会長が「今まで経験したことのない雨だった。」と8月19日の



荒天を語っておられたのが印象的でした。ここは高地だから水害はない、浸水はないなどは絶対に言えない豪雨が短時間に降り注ぎます。私たちは今一度、身の回りの状況を見渡して災害時の備えをしっかりとしないければいけません。皆さんは「馬の背を分ける」という言葉があるのをご存じですか。これは夏の夕立を指します。雨が馬の背の片側のみを濡らして、片方は乾いたままと表現されるくらい局地的に降るといふ例えです。先日、実際に若荷町は土砂降りなの

に、南田原町は滴も落ちないという経験をしました。自然には不思議さがつきものです。農作物にとっては恵みの雨と必要以上の水分は自分で選ぶことはできません。作りの期待通りに育ち収穫できるか否かは馬の背を分けるほど紙一重なのかも知れません。

ところで、田原の人がよく話す言葉に「心安い」というものがあります。気持ちが通い合う、気の置けない仲間。そんな意味合いをもつ言葉です。「あの人は心安いからなんでも言える仲間」とやさしい笑顔で語ります。親しいというより軟らかなしなやかな表現です。

そして同じように感じるのが「寄り合い」という言い方です。会合や会議、集会という形式張ったもので義務感を感じます。そこで、「寄り合いがある」と言うと、肩を寄せ合って語り合う、そんな雰囲気があります。英訳すると同じ単語でも、語彙を変えることで色んな印象を与えます。相手の気持ちをわかりつつ、互いを認め合うそんな生活から生まれた言い回しが地域に残っているのです。

秋の夜長に心安い仲間と寄り合い、語り合う。自分たちのまちを見つめ直し、地域を知り、まちづくりに繋げていく。公民館がそんな寄り合いの場として地域にありつづけていけるのです。

## 「プチ田舎暮らし・田原―しそ作り―」を受講して

受講生 左京 奥野 純子さん

常に身近にあるしそ。こんなテーマでいったい何を体験するのだろうか？と講座が始まるまで考えていました。なぜしそなのかという講義を講師の岡井氏から最初に受けました。

「免疫力を上げるのに最もいいのがしそや昔の人は、しそやら梅干しやら食べてたから病気で生活できなかったんや。がんばって育てて、ジュース作ろうな」と。そうか、だからしそなんだと納得しました。

一回目はしその苗を植え、二回目は草抜きの手前でしたが、さほど草がないので岡井氏の田原地区や、ご自身のお話・免疫力をつける為の活動をしていると教えてもらいました。三回目は青じそのお料理です。青じそドレッシング、三輪素麺の薬味、天ぷらと青じそが大活躍です。岡井氏の差し入れ野菜でサラダを作り、出来上がった手作りドレッシングをかけて食べました。すごく充実した昼食会でした。四回目は赤じその収穫から始まり、調理室で赤じそジュースを作りました。思ったほど難しい作業ではなく、楽しく出来上がりました。赤じその煮汁にクエン酸を入れたら、まるで魔法のように真っ赤な液体に変わった時は思わず「わあ、きれい」と言っていました。



植え付けの様子



収穫したしそを洗います

ジュースの味も最高においしくて、この夏は乗り切れそうだなと思えました。

赤じそ、青じそ、昔から脈々と育てられ食べ伝がれてきたもの。ある時は薬味に、ある時は天ぷらに、そして梅干しの赤色の為に使われ、しそドリンクに変身し、日本人の心の味になって、知らず知らず広められ受けつがれています。最初のなぜしそ？が、うん、しそはすごいという結論まで導いて下さり、先生方、スタッフの方々に心から感謝いたします。

ありがとうございました。 合掌

## 「夏休み探検隊 へりポートってどんなところ？」を受講して

受講生 2年生 坂野 億星くん

今日、田原こうみんかんへ「へりポートってどんなところ？」というこうぎをうけに行きました。ぼくは、じっさいにへりポートを見たのがはじめてでした。そのときに思ったことが、「大きいな...」です。でも、空こうよりは小さく感じました。

まずは、ならけんへりポートについて話を聞きました。そこで1ばんおもしろかったのが、へりコプターのそくどのことです。ぼくは、そくどが45キロぐらいかな？と思っていたのですが、じっさいは、さいこうそくどが300キロだと聞いて、しんかんせんと同じぐらいスピードがでるのびびっくりしました。

つぎに、けいさつへりコプターのあすかと、しょうぼうへりコプターのやまとつ

〇〇を見せてもらいました。まずあすかを見て、大きさにびっくりしました。なぜなら、はじめてとまっているヘリコプターを目の前で見たからです。



つぎに、やまと2000〇を見て、中がすごくひろいことにびっくりしました。ひろいゆうは、びょう人・けが人を4人まではこぶためだそうです。とてもたのしかったので、あつというまの2時間でした。

「親子でもとても貴重な体験をさせて頂きました。今日お話を聞いたり、実際のヘリポートやヘリコプターを見せて頂いたことで、働いている方の思いや仕事への情熱を息子なりに感じることが出来たと思います。」

(母:坂野 智華さん)



取材: 上西 美智子  
写真: 浦川 温亮

### ● 田原にも、夏の日差しが眩しい季節がやってきました。そんなある日、

「青葉仁会」の本部にお伺いし、総務部長補佐の稲實祐典さんにお話を聞きました。

▼ここは、どんな施設ですか? ●主に知的に障害をお持ちの方が、社会の人として輝き、豊かな人生を送れるよう、それぞれの「働く・暮らす・余暇」の実現に向けてサポートしています。▼いつごろ・どのような経緯で設立

されましたか?

●1980年に奈良の養護学校の教員の4名が、教え子たちが卒業後も輝いて自由に自分らしく働ける場・いきいきと生活する場・社会に貢献できる場などを



作りたいとの思いから青葉仁会が設立されました。平成3年、社会福祉法人として認可を受け、平成4年に、この

田原の皆さんに育てて頂いたという思いがあります。▼仕事の中で大変な事や遣り甲斐を教えてください。●現在の総務という仕事は、法人全体のかし取り役だと思っています。青葉仁会にはたくさん

の事業所があるので、それぞれの事業所のことを理解し、調整し、つないでいくことが求められるので難しいことも多いですが、その分ダイナミックで法人のことを深く理解できるポジションだと思っています。▼最後に、田原の好きな風景を教えてください。●中ノ庄トンネルを抜けたところから見た棚田と夕日の風景は、田原の魅力が詰まっています。▼今回の取材を終えて、創設者や職員の皆様

が利用者の目線で新しい福祉を成し遂げていく姿に頭が下がりました。お忙しい中ありがとうございました。

れを常に大事にしていきたいと思っています。

▼稲實さんのお仕事を具体的に教えてください。●総務部の部長補佐をしています。私は平成4年に



青葉仁会に入社しましたが、長年での経験を生かして、青葉仁会の語り部として、外部からの見学対応や採用活動、職員研修、新任研修企画等の仕事に関わっています。私は田原川町に分校があった時代を知っていて、田原地域の皆さんに育てて頂いたという思いがあります。▼仕事の中で大変な事や遣り甲斐を教えてください。●現在の総務という仕事は、法人全体のかし取り役だと思っています。青葉仁会にはたくさん



取材風景

### 9月の公民館行事とその他のお知らせ

- 11日(水) チャレンジ和太鼓⑥
- 12日(木) プチ田舎暮らし・田原一柚子こしょうとポン酢ー
- 13日(金) はじめての女声コーラス⑤
- 14日(土) TAWARAキッズ③
- 17日(火) 休館日(敬老の日の振替)
- 20日(金) はじめての女声コーラス⑥
- 24日(火) 休館日(秋分の日の振替)
- 25日(水) チャレンジ和太鼓⑦
- 27日(金) 老春塾④
- 28日(土) 田原やま里博物館☆体験フェスタ① @満天ひろば
- 29日(日) 田原やま里博物館☆体験フェスタ② @満天ひろば



### 奈良市都祁保健センターからのお知らせ

日時	9月17日(火) 午前10時30分~12時
会場	田原どんごが丘コミュニティ広場(旧田原幼稚園)
内容	妊娠中の過ごし方、乳幼児の発育発達育児相談(体重・身長測定)
持ち物	母子健康手帳
申込	不要

### ○大人の健康相談

日時	9月26日(木) 午後1時30分~4時
会場	保健師による健康相談
内容	前日まで

### ○すこやかキッズ1・2・3

日時	テーマ	内容
9月18日(水) 10時~11時30分	キラキラ歯つびい	・プチ講座「子どものむし歯予防」(歯科衛生士) ・実習 プラッシング指導(歯科衛生士) ・劇「アンパンマンと歯磨きしよう」(歯科ボランティア にここ通信局)

対象: 2歳~3歳半  
定員: 10組(多い場合は抽選。落選者のみに連絡)  
場所: 奈良市都祁保健センター  
申込・問合せ: 奈良市都祁保健センターへ 0743-82-0341  
申込期日: 開催日の1週間前まで